

中国茶を振舞おう										
科目名	中国語エリア	作成日	2013年10月15日	作成者	柳 素子					
学年／年次	2	クラス人数	7	使用教科書と課	標準高校中国語第8課					
話題分野	食	言語レベル	1-2(初～中級)	必要時間数	7コマ					
I 単元目標										
①中国茶の作法の練習、実演(文化祭、オープンキャンパス)を通して、中国文化への理解を深め、中国の人々と積極的にコミュニケーションをとることができる。 ②初回のお点前の実演(文化祭)の後、表現やコミュニケーションストラテジーにおいて何が欠けていたのか内省し、それを次の実演の機会(オープンキャンパス)に生かすことができる。 ③日本と中国の茶文化に関するリサーチ、文化祭での茶道部の茶会(日本茶)の体験を通して、その関連性や相違点を分析することができる。					言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
				わかる						
				できる						
				つながる						
言語領域		文化領域		グローバル社会領域						
▲基本的な会話を行うことができる。 ▲作法の紹介スクリプトを作成することができる。 ▲中国の人々とコミュニケーションを取りながら、お茶について説明することができる。 ▲中国の人との会話を通じて、円滑にコミュニケーションを行うための表現、ストラテジーについて考えることができる。		▲中国茶の試飲やその作法を見ることを通して中国茶の特徴について気づく。 ▲日中の茶道の作法の違いに気づく。 ▲日中茶文化のリサーチを通して、その関連性や相違点がわかる。		▲ICTを利用をしながら、グループで協力して茶器の名称及び中国や日本の茶文化について調べることができる。(情報処理、協働) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。						
コミュニケーション能力指標	【自分と身近な人びと】 1ーa 名前(姓名)や属性(高校生、学年、年齢、誕生日など)を、言ったり尋ねたりできる。 1ーc 簡単な自己紹介(姓名、学校、学年、年齢、誕生日、干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など)を、口頭でまたは書いてすることができる。									
	【食】 1ーj 食事のときによく言う表現(いただきます、ごちそうさま、召し上がれ)を使って口頭でやりとりができる。 1ーk 自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる。									
	【人とのつきあい】 1ーa 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現(初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど)を、言ったり、聞いて理解したりできる。									
	【ことば】 1ーe 物の名前を学習対象言語でなんと言うか尋ねたり、日本語でなんと言うか教えることができる。 1ーg 相手の話すことがわからないときに、聞きかえしたり、ゆっくり言ってもらおう頼んだりできる。									
II 評価										
学習を助けるための評価 (形成的評価)				目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)						
◆茶器に関するワークシート(取り組み態度、完成度) ◆作成した説明スクリプトの内容(簡体字の表記、表現の適切さ) ◆初回(文化祭)のお点前を披露した後の自己評価 (相手に通じる発音であったか、コミュニケーションストラテジーを使用したかなどのフィードバック)				◆オープンキャンパスでのお茶を出す時の説明(発音の正確さ、コミュニケーションストラテジーの使用の有無) ◆日中茶文化についてのレポート(関連性・相違点の分析)						

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
◆自己紹介の復習をする。まずワークシートを使って簡単な自己紹介文を作成し、覚えるまで発音練習をする。その後、ペアで自己紹介をする。【自分と身近な人びと1-a、1-c】 ◆あいさつや飲食に関する表現の発音練習(復習)【人とのつきあい1-a】【食1-j、1-k】	＜場面状況＞ 中国語の授業で茶芸について学ぶことになった。学習したことをアウトプットし、さらに近隣に住む中国の人々と相互理解を図ることを目的に文化祭とオープンキャンパスにおいて中国茶をふるまうことにする。 ＜活動の流れ＞ 中国茶芸の導入として茶器に関する用語から学習する。まず開香杯の実物を見ながらそれが何か、何に使われるのかをクラス全員で考える。日本の茶道にはない用具もあると理解した上で、他の茶器の写真が印刷されたワークシートにその名称(日本語と中国語)をインターネットで調べて記入していく。 茶芸師のお点前を見て試飲し、感想を書く。茶芸師について作法の練習をし、ワークシートを使って、作法の紹介文を作る。文化祭で交代しながらお点前をする。茶道部(日本茶)のお茶会にも参加しておく。 次の授業ではふりかえりを行い、日中茶文化に関するリサーチもする。反省をふまえ、オープンスクールで再度お点前をする。 最後に二回目の振りかえりと復習を行う。	
＜使用教材・教具＞ ワークシート(ダウンロード http://www.tif.or.jp/mevasu/support/docs/my_charange_c_voo_ws.docx) 標準 高校中国語[第2版]		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
你好! /我叫～。/我是某某高中的学生。/这是乌龙茶。/这是茶杯。/这是什么? /好喝吗? /你喝茶吗? /我喝茶, 你呢? /我也喝茶。/喝什么茶? /茉莉花茶。/你也喝吗? /我不喝。/我喝红茶。/ ＜表現のポイント＞ 疑問詞“什么”、“是”の文、“喜欢”、“请”を使った文、動詞述語文、形容詞述語文	你好、大家好、叫、某某高中、学生、是、什么、这、那、喜欢、喝、好喝、也、乌龙茶、茉莉花茶、红茶、洗茶、倒茶、茶杯、茶壺、茶巾	＜事象＞ てなしの仕方、あいさつの仕方。 ・日中茶文化の関連性、相違点。 ＜事象のポイント＞ 文化祭やオープンキャンパスで来る中国の人に対し、積極的に関わろうとする態度を養う。 ・中国の茶文化についてリサーチすることにより、日本の文化との関わりがわかる。
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
中国や日本のHPを閲覧して茶文化に関する理解を深める。 文化祭やオープンキャンパスの際に近隣に住む中国の人々に中国茶を点てながら、コミュニケーションをとる。		情報、世界史、日本史

授業	主な学習活動	留意点など
第1時	自己紹介、飲食に関する表現の復習 ・自己紹介の復習をする。まずワークシートを使って簡単な自己紹介文を作成し、覚えるまで発音練習をする。その後、ペアで自己紹介をする。また茶芸の実演の時に用いると予測される飲食に関する表現も発音練習を中心に復習しておく。 (テキスト第8課(既習事項)の内容 这是茶杯。这是什么？好喝吗？你喝茶吗？我喝茶，你呢？我也喝茶。喝什么茶？茉莉花茶。你也喝吗？)	授業の始めに、今回の復習内容は茶芸実演の時に使うということを生徒へ伝えておく。
第2時	茶器についてのクイズ・リサーチ ・インターネットを使って、茶器に関する語彙を	インターネットの翻訳サイトを使ってもよい。
第3時	中国茶の試飲と感想 ・茶芸士にウーロン茶を点てもらい、試飲する。感想もワークシートにまとめる。	茶芸師には中国語で茶器や作法の紹介を言ってもらいながら、お点前をしてもらう。
第4時	作法の練習 ・中国茶芸の作法の練習をする。	既習の茶器の名称も発音しながら、練習できるようにする。
第5時	作法の紹介スクリプトの作成、作法の練習 ＜中国茶芸の実演1(文化祭)(茶道部のお茶会＜日本茶＞)にも行っておく。＞	スクリプトには簡単なあいさつ、自己紹介、茶器やウーロン茶、作法の仕方について、準備しておいた雛型に語を入れていく形でまとめていく。また、「おいしいですか?」「お茶は好きですか?」などの表現も言えるようにしておく。
第6時	文化祭のふりかえり、 日中茶文化に関するリサーチ 中国茶の実演2(オープンスクール)＞	ふりかえりについては、相手にきちんと伝わったかどうか、コミュニケーションストラテジーを使ったかどうか確認する。日中茶文化のリサーチについてはテーマを「作法の違い」、「日本の抹茶と中国茶との関係」というようにテーマをしぼって調べさせる。
第7時	オープンスクールのふりかえり ・全員でオープンスクールの実演のふりかえりを行う。 ・お点前で使われた表現を再度復習する。	オープンスクールのお点前を全員でふりかえり、難しかったこと、表現できなかったことを発表してもらい共有する。